

注 意 報

3 病 第 2 1 号
令和 3 年 8 月 2 5 日

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病虫害発生予察注意報第 3 号

- 1 作物名 **ネギ、豆類（黒大豆、エダマメ、アズキ）、野菜類**
- 2 病虫害名 **シロイチモジヨトウ**
- 3 発生地域 **府内全域**
- 4 加害時期 **11月まで**
- 5 発生量 **平年比多い**
- 6 注意報発令の根拠

(1) 8月中旬の病虫害巡回調査において、ネギでの本虫幼虫発生量は小株で平年並、大株で発生を認めている（表1）。被害株率は過去10年間で最も高い（+）（表2）。

表1 ネギでのシロイチモジヨトウ幼虫寄生株調査(8月中旬)

株の種類	項目	R3	平年値	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
小株	幼虫数(頭/株)	0.01	0.03	0.11	0.08	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	寄生株率(%)	1.3	1.5	2.0	2.6	4.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大株	幼虫数(頭/株)	0.11	-	0.00	0.00	0.07	0.03	-	-	-	-	-	-
	寄生株率(%)	8.5	-	0.0	8.0	5.0	3.0	-	-	-	-	-	-

* 小株:葉長40cm未満、大株:葉長40cm以上。

表2 ネギでのシロイチモジヨトウ被害株調査(8月中旬)

項目	R3	平年値	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
被害株率(%)	12.3	1.6	3.5	2.6	4.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
被害発生ほ場率(%)	57.1	17.9	43.8	60.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

* 小株(葉長40cm未満)及び大株(葉長40cm以上)の平均値

- (2) 8月中旬の病虫害巡回調査において、アズキで本虫幼虫の発生を認めている（+）。
- (3) フェロモントラップへの誘殺虫数(7月第4半旬～8月第3半旬の合計値)は、京田辺市で97.0頭(平均24.7頭)と多い（+）。また、亀岡市で68.6頭(平均:66.8頭)、京丹後市で48.4頭(平均:48.0頭)と平成30年から調査を開始した2地点の過去3年間の各平均と同程度となっている。（図1）。

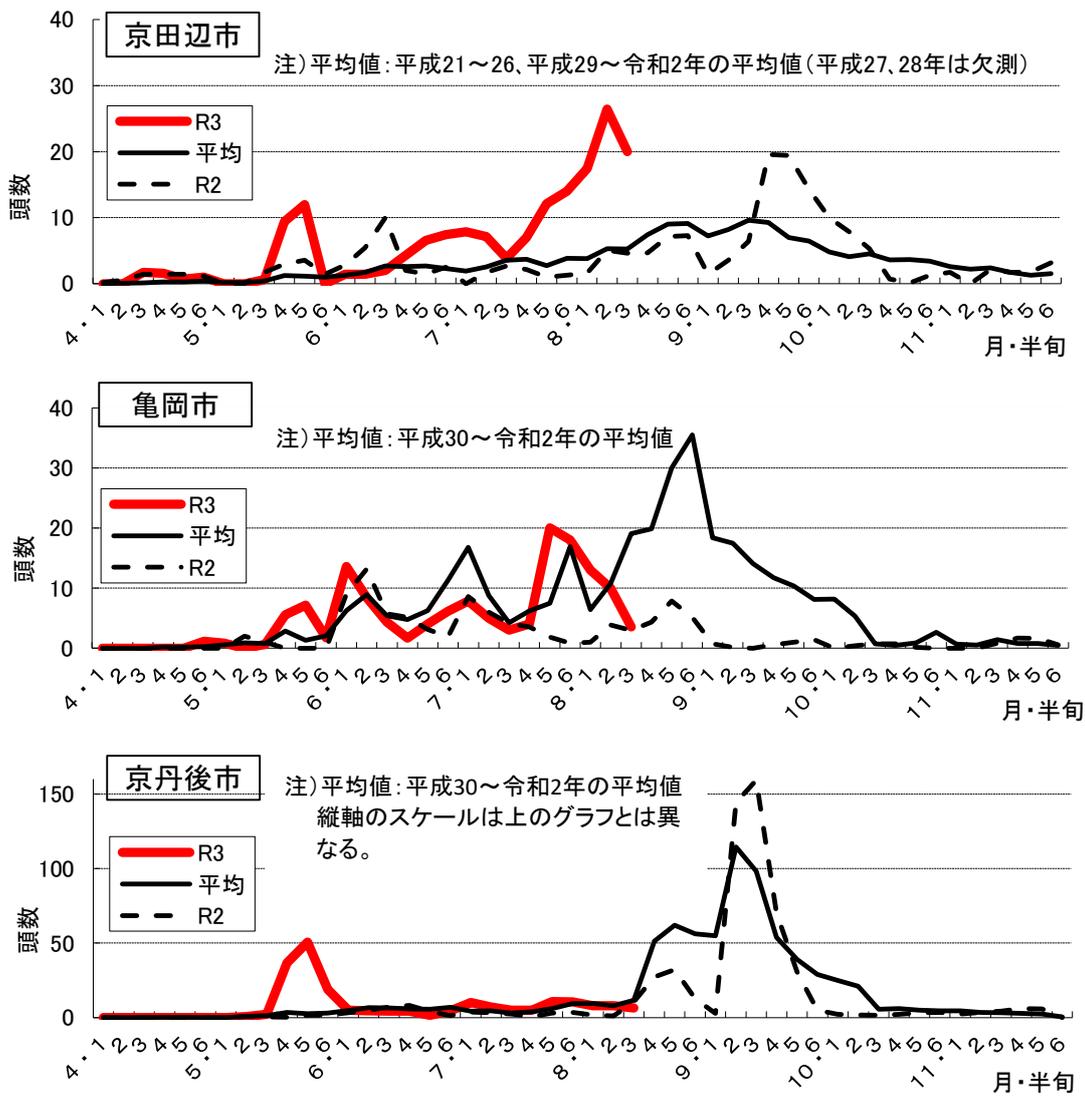


図1 シロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺状況



写真 シロイチモジヨトウ幼虫(左)と卵塊(中)、ネギの被害(右)

7 防除上の留意事項

- (1) 中老齢幼虫の薬剤感受性は低下する。また、ネギでは葉の内部に潜り込むと薬剤による防除効果が低下するので、ほ場をこまめに見回り、若齢期に防除を行う。
- (2) 性フェロモン剤による交信攪乱や黄色蛍光灯を組み合わせた防除を考慮する。
- (3) 被害葉及び収穫残さは本種の発生源となるので、残さは一箇所にとめて積み上げ、表面をビニル等で被覆する等、適切に処分する。
- (4) 本種は寄主範囲が広く、ネギ以外に豆類、野菜類、花き類を加害するので注意する。
- (5) ネギでの薬剤散布は表3を参考に、使用薬剤は異なる系統のものを用い、同一系統の薬剤の連用は避ける。なお、病虫害防除所で平成29年に実施した薬剤殺虫効果試験の結果は、平成29年9月21日付け「病虫害発生予察注意報第4号」を参照のこと。

http://www.pref.kyoto.jp/byogai/documents/h29chui4_shiroichi.pdf

- (6) 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用する。最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」で確認すること。

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/index.html

表3「ネギ」でシロイチモジヨウに登録のある主な農薬（令和3年8月11日現在）

IRACコード*	農薬名	希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数	使用方法	総使用回数	備考	
1A	ランネット45DF	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内		
3A	アグロスリン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内		
	アディオン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	トレボン乳剤	1,000倍	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内		
	トレボンEW	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
4A	テルスター水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
	スタークル顆粒水溶液 (アルバリン顆粒水溶液)	50倍、 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	定植前日～定植時	1回	灌注	4回以内 (但し、は種時の土壌混和、育苗トレイへの 灌注及び定植時の株元散布は合計1回以 内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及 び定植後の株元散布は合計2回以内)		
	(28) アベイル粒剤	40g/ セルトレイ、ペーパーポット	育苗期後半～定植当日	1回	株元散布	アゼラリド(モシトラン:IRACコード4A) 3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回 以内、播付時の土壌混和及び定植当日ま での株元散布は合計1回以内) シアトラコリアロール(ベネビ7OD:IRACコード 28) 4回以内(但し、定植時までの処理は1回以 内、定植後の処理は3回以内)		
(28)	キックオフ顆粒水和剤	100倍 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	定植前日～定植時	1回	灌注	クロフトラコリアロール(フレバソ:IRACコード2 8) 4回以内(但し、灌注は1回以内、散布は3 回以内) ジノアファン(スタークル:IRACコード4A) 4回以内(但し、は種時の土壌混和、育苗ト レイへの灌注及び定植時の株元散布は合計 1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、 散布及び定植後の株元散布は合計2回以 内)		
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内		
6	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	(15) アフームエクセラ顆粒水和剤	1,000～1,500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	エマクチン安息香酸塩(アフーム:IRACコード 6) 3回以内 ルフェスロン(マッチ:IRACコード15) 3回以内		
	(28) アニキ乳剤	1,000～2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内		
11A	ボリアムガンダム顆粒水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	エマクチン安息香酸塩(アフーム:IRACコード 6) 3回以内 クロフトラコリアロール(フレバソ:IRACコード2 8) 4回以内(但し、灌注は1回以内、散布は3 回以内)		
	エコマスターBT	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	散布	—		
	ゼンターリ顆粒水和剤	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	散布	—	野菜類で登 録	
	デルフィン顆粒水和剤	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	散布	—	野菜類で登 録	
13	フローバックDF	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	散布	—		
	コテツフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
	15	アタブロン乳剤	2,000倍	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	カスケード乳剤	4,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内		
18	マッチ乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ノーモルト乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
	マトリックフロアブル	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ファルコンフロアブル	4,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内		
21A	ロムダンフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ハチハチ乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
	(22B) アクセルキングフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	トルフェンピラト(ハチハチ:IRACコード21 A) 2回以内 メタフルソリン(アクセル:IRACコード22B) 2回以内		
22A	トルネードエースDF	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内		
22B	ファイントリムDF	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内		
22B	アクセルフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内		
28	ブレバソフロアブル5	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内(灌注は1回以内、散布は3 回以内)		
	ベネビアOD	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内(定植時までの処理は1回 以内、定植後の処理は3回以内(但 し、株元灌注は1回以内))		
	ベリマークSC	400倍、 2,000倍、 株元灌注(0.5L/m ²)	育苗期後半～定植当日 収穫7日前まで	1回 1回	灌注 株元灌注	4回以内(定植時までの処理は1回 以内、定植後の処理は3回以内(但 し、株元灌注は1回以内))		
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ヨーバルフロアブル	2,500～5,000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内(灌注は1回以内、散布は3 回以内)		
30	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
	プロフレアSC	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
UN **	ブレオフロアブル	1,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布	4回以内		
交信かく乱剤 ***	コンフューザーV	100本/10a (41g/100本製剤)	対象作物の栽培全期	—	—	作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒 にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置する。	野菜類で登 録	
	ヨトウコン-S	100～500本/10a (露地)	シロイチモジヨウの発生初 期～終期	—	—	作物上に支柱等を用いて固定する。 露地の場合:100～500本(20cmチューブ)/10a	シロイチモジヨウ が加害する農 作物	

*殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

**作用機構が不明あるいは不明確な薬剤

***IRACの分類に該当しないもの